

# 富山営林署管内の国有林利用者 (登山者)の意識調査報告

富山営林署 清水 陽一

## 1. 調査の目的

富山県における国有林は約10万haに及び、このうち約7万haが中部山岳国立公園に指定されている。

立山、黒部をはじめとするこの地域の繊細な高山植物群落、高層湿原、原生林のおりなす雄大な山岳景観は、わが国第一級である。

富山営林署は、この地域のすぐれた自然景観と貴重な動植物を保護し、環境の保全をはかるため、地方公共団体、施設経営者等と連けいを密にして保護管理を推進している。

従来の夏山パトロール中でキャンプ利用者からキャンプ場が汚い、キャンプ場をもっと多く作れの意見や、清掃協力費が高い等のトラブルがあったので、今後一層適切な管理を行う参考とするため、登山者の意識と動態を調査したものである。

## 2. 調査地の概況と利用状況

この地域は、白馬、後立山、剣、立山、薬師と3,000メートル級の高山が連なり、その間を黒部川の溪谷が岩を鋭くえぐり、また弥陀ヶ原、雲の平など広大な熔岩台地もあって、それぞれ深い森林や華麗な高山植物群落に飾られている。又カモシカ、ライチョウなどの鳥獣や昆虫類も多い。

立山は古くから信仰登山として登られていたが、昭和46年立山、黒部アルペンルートの開通にもない、この沿線は国民のいこいの場として、その利用者は年ごとに増加し、現在ではこの地域の国有林入込者は年間約160万人(アルペン100万、黒部85万、登山25万のうちキャンプ利用7万)にのぼっている。

富山営林署管内には、国立公園施設として、宿泊設備44箇所、キャンプ場22箇所、観光交通機関3箇所、その他園地など、利用施設の整備がすすめられてきた。

## 3. 調査方法と結果

3. 下表のとおり、昭和54年度は、13箇所のキャンプ場で1,237名のキャンプ地利用者から、昭和55年度は、4地域16箇所の山小屋で1,118名の山小屋利用者から、別表の様式でアンケートをした。時期はいずれも7月25日から8月15日の期間である。

表－1. アンケート調査内訳

キャンプ場利用者		山小屋宿泊者		
キャンプ場名	人 数	地 域 別	山 小 屋 名	人 数
剣 沢	361	立 山	雷鳥荘、五色小屋	360
雷 鳥 沢	276		五色山荘、室堂	
薬 師 峠	177	後 立 山	朝日、白馬、五竜 冷池、種池	391
五 色	119			
朝 日	64			
黒 部 五 郎	60	薬 師 奥 黒 部	太郎、高天原、薬師沢 雲の平、黒部五郎	292
三 俣	48			
五 竜	35			
東 沢	28	剣 沢 黒 部	剣沢、剣山荘	75
真 砂 沢	27			
冷 池	15			
雲 の 平	14			
池 の 平	13			
合計（13箇所）	1,237	合 計	16箇所	1,118

- (1) 出身地別では、大都市で人口の多い関東、関西地方が60％を占めている。
- (2) 年令別では、いずれも20才代が多く、年令が高くなるにつれ、山小屋利用が多くなる。
- (3) 職業別では、学生が多く、公務員はキャンプより山小屋利用が多い。
- (4) グループ構成では一人歩きが16％もあることがわかった。
- (5) 日程は、キャンプは4～6泊、山泊は2～3泊が多い。
- (6) 登山経歴では、初心者が少なく、いずれも経験者が圧倒的に多い。
- (7) キャンプ地の管理については、汚い、もっと清掃してほしいというのが33％もある。
- (8) キャンプ地の位置は、現状では妥当である。
- (9) 指定地外キャンプをしているのを見た人は20％もある。
- (10) キャンプ地清掃協力費の高いというもの3％の僅少であり、1人150円は定着している。
- (11) 学生バイトパトロール員について、もっと教育すべきとする人20％近くもある。
- (12) 高山植物の踏み込みはだめとする人は90％もあり、高山植物保護の意識は高いが、高山植物をとっているのを見た人10％、高山植物の中で休んでいるのを見た人が30％もあることは、問題である。

アンケートで出された主な意見

- (1) キャンプ場に便所と水場の施設を作れ。
- (2) キャンプ場の便所とゴミ処理をもっときれいに。
- (3) キャンプ地をもっとふやしてほしい。
- (4) キャンプ指定地をこれ以上減らさないで。
- (5) 高山植物保護区域への立入禁止を強化せよ。
- (6) ゴミの持ち帰りをもっと呼びかけよ。
- (7) スキー客のマナーが悪い。
- (8) 大きな団体客のマナーが悪い。
- (9) 山小屋でカンジュース類の販売をやめよ。
- 00 山小屋素泊り料金が高い。
- (11) パトロール員の質を高め、人数を増やせ。
- (12) 女子パトロール員をふやせ。
- (13) 積極的なパトロールの成果が見られる。
- (14) テレビ、雑誌でもっと高山植物保護のPRをしてほしい。

#### 4. ま と め

- (1) キャンプ場をふやせの意見もあったが、全体的に、位置、数とも妥当と判断され、清掃協力費 1 人 150 円も納得が得られている。
- (2) キャンプ場の便所、洗場についての不満が多く、更に公園側に設備の充実化を要請することと、同時にキャンプ場管理委託者への指導をはかっていく。
- (3) 高山植物保護の啓蒙指導パトロール活動を一層強化していく必要がある。
- (4) 大都市出身の利用者が多いことから、大胆にテレビ、雑誌等マスコミを利用したPR活動が必要である。
- (5) パトロール員の言動が利用者から批判されないよう一層の教育充実で質的向上をはかっていく。



キャンプ地についてのアンケート

該当に○印を、調査にご協力下さい。

1. 調査場所				
2. 出身地方別	富山	北陸	関東甲信越	東海
	関西	中国	東北・北海道	四国・九州
3. グループ構成	1人	2～5人	6～10人	11人以上
4. 職業別	会社員	公務員	自営 その他	学生
5. 年令別	10代	20代	30代	40代以上
6. 日程	1泊	2～3泊	4～6泊	7泊以上
7. キャンプの経験は	初めて	2回	3回以上	
8. 北アルプスには	初めて	2回	3回以上	
9. キャンプ地の清掃 協力者について	高い	妥当	仕方なく出す	
10. キャンプ地の 管理について	汚い	きれい	もっと清掃してほしい	
11. キャンプ地の 位置について	妥当	少ないむとふやせ	現状でやむを得ない	
12. キャンプ指定地外 にキャンプを	しているのを見た	見なかった		
13. 森林パトロール員 の態度について	態度が横柄だ	態度が良い	もっと教育すべきだ	
14. その他どんな意見でもどうぞ				

ご協力、ありがとうございました。

富山営林署

アンケートにご協力下さい。

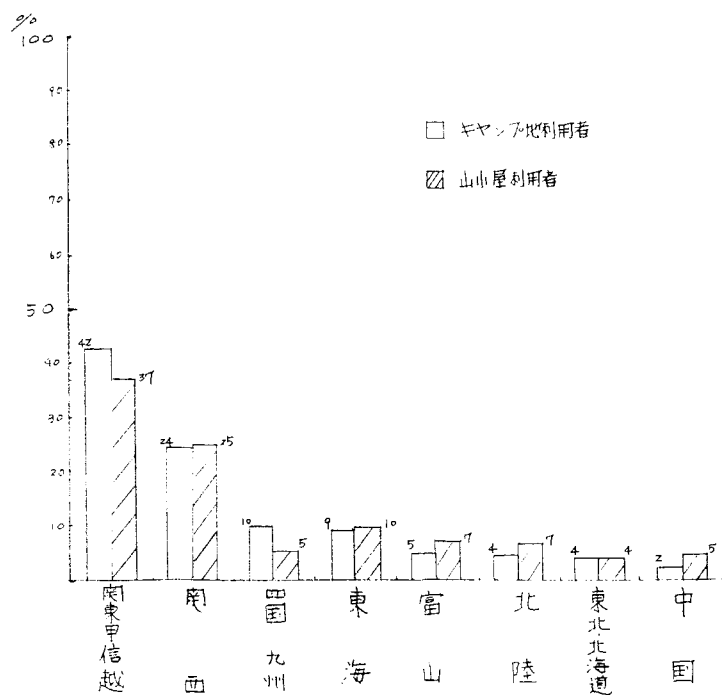
該当に○印を

1 調査場所				
2. 出身地方別	富 山	北 陸	関東甲信越	東 海
	関 西	中 国	東北・北海道	四国・九州
3. グループ構成	1 人	2 ～ 5 人	6 ～ 10 人	11 人以上
4. 職 業 別	会社員	公務員	自 営 その他	学 生
5. 年 令 別	10 代	20 代	30 代	40 代以上
6. 日 程	1 泊	2 ～ 3 泊	4 ～ 6 泊	7 泊以上
7. 北アルプスには	初めて	2 回	3 回 以 上	
8. 登山の経験	初めて	1 ～ 5 年	6 ～ 10 年	11 年以上
9. 高山植物をとっている人を	見 た	見 ない		
10. 高山植物の中で休んでいる人を	見 た	見 ない		
11. 高山植物の中で休むことは	だめだ	良 い	少しぐらいなら良い	休みたいか がマンしている
12. パトロール員について	態度が横柄	態度が良い	も っ と 教 育 せ よ	
13. 指定地外キャンプを	しているのを見	見なかった		
14. その他どんな意見でもどうぞ				

ご協力、ありがとうございました。

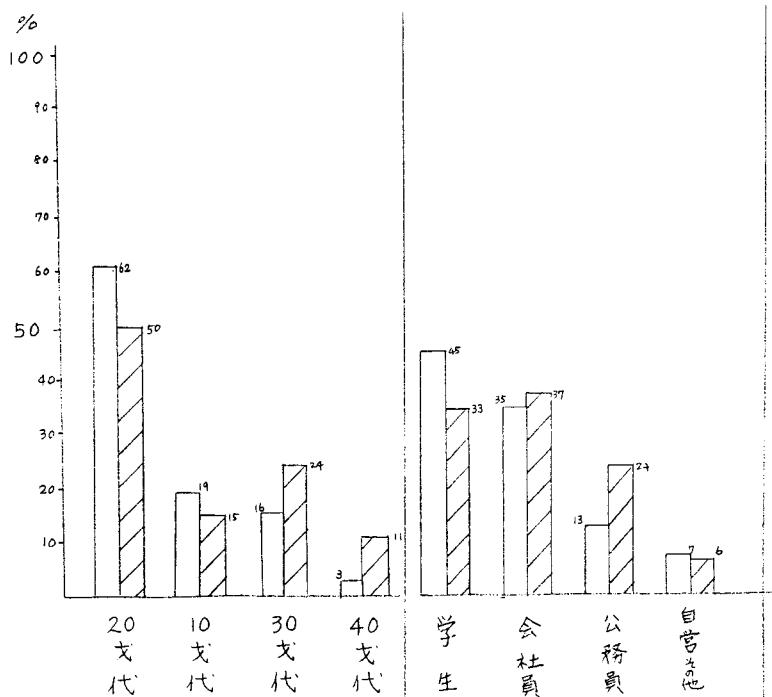
富 山 営 林 署

# 1. 出身地方別



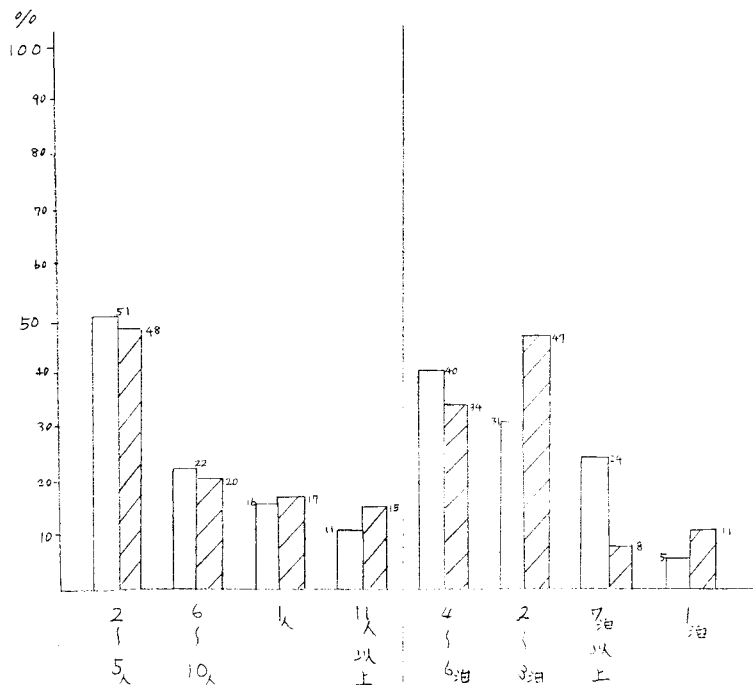
## 2. 年齢別

## 3. 職業別



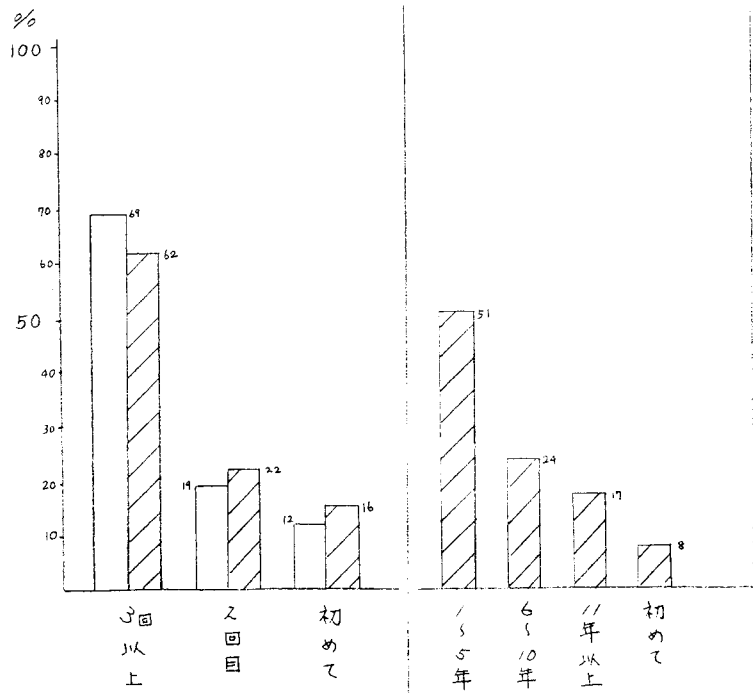
4. グループの構成員数

5. 日程



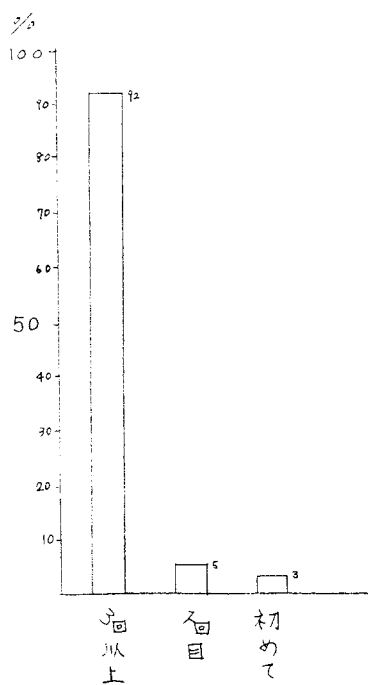
6. 北アルプスに来たことは

7. 登山の経験は

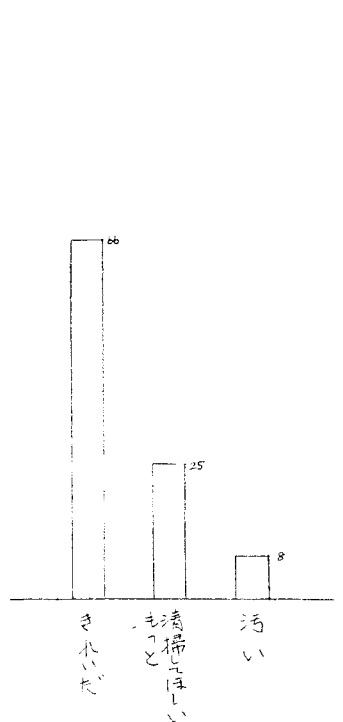




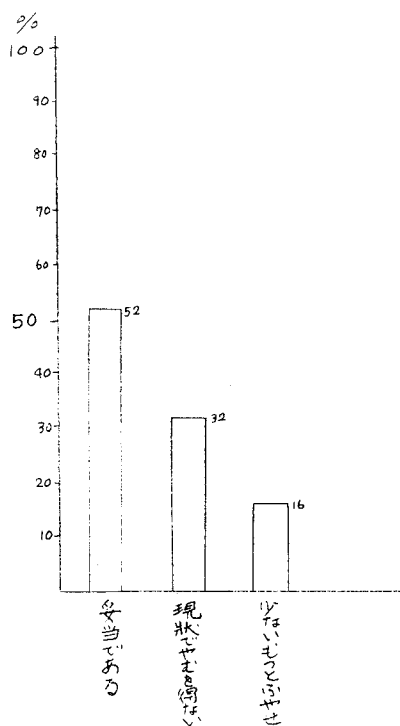
8. キャンプ経験は



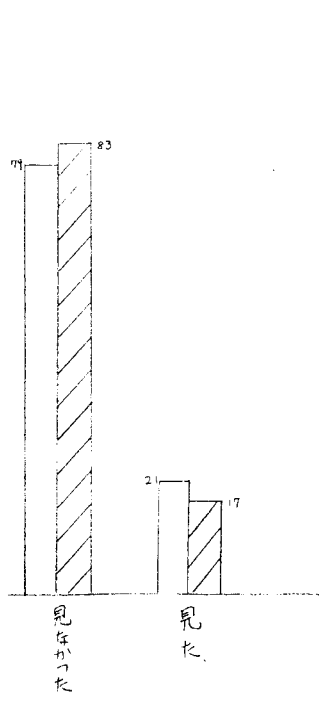
9. キャンプ地の管理について



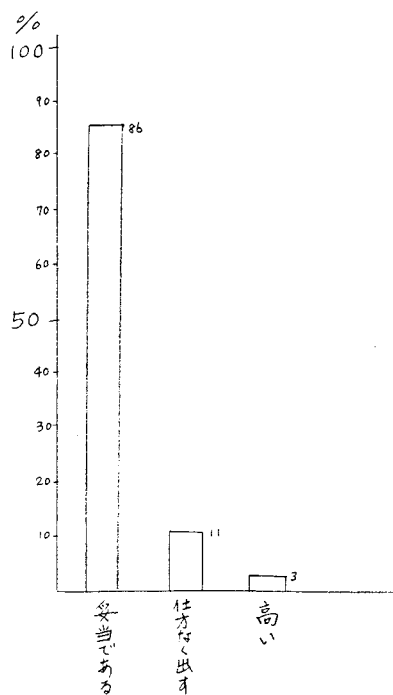
10. キャンプ地の位置は



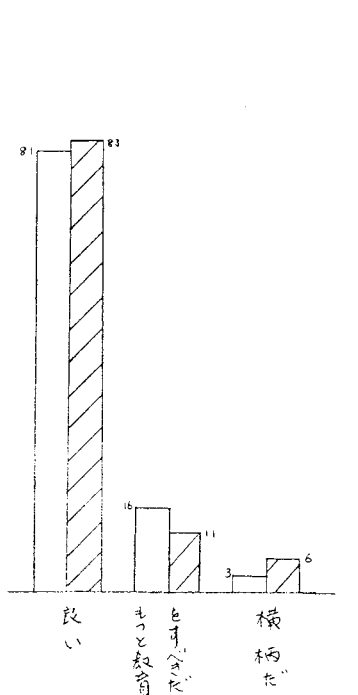
11. キャンプ地外にキャンプをしている



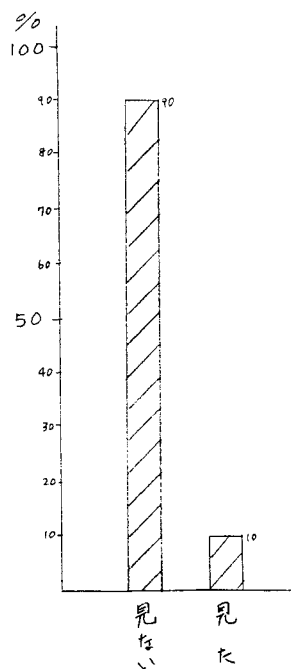
12. キャンプ地清掃協力費1人  
150円は



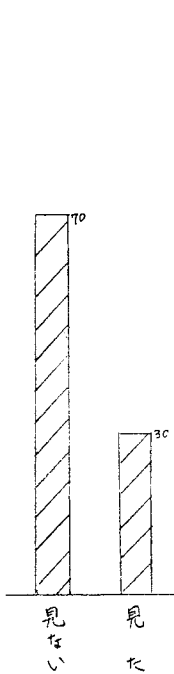
13. 学生バイトパトロール員の態度  
について



14. 高山植物をとっ  
ている人を



15. 高山植物の中で  
休んでいる人を



16. 高山植物の中で  
休むことは

